

## 入選

### 水の今の状況

みなさんは水がなににどんなふうに使われているか分かりますか？水は、生活用水、工業用水、農業用水などに使われているそうです。しかし今世界中で川や海、地下水が減っています。いわゆる水不足におちいつているのです。そこで僕は限りある水をこれから先どう使えばいいかを考えていきたいと思っています。

まず、なぜ水が減るのでしょうか。その理由の一つは、山の自然林が減ったからです。かつての山は針葉樹や広葉樹などいろいろな木が生え、長い時間をかけ大木が育っていました。そんな自然林の地面には光が注ぎ、草や葉っぱを含んだやわらかい土となり、地中にたくさんのお水を含み、時間をかけて雨を川へと送り出していました。しかし、太平洋戦争の時代、必要な建物や燃料として使うため多くの木

矢吹町立矢吹中学校 三年 大竹<sup>おおたけ</sup> 祐正<sup>ゆうせい</sup>

が伐採され、自然林がまる裸になってしまいました。ですが、戦後、産業として使う木を増やすため、植樹に多くの補助金が支給されるようになりました。こうして山々には再び多くの若木が植林されました。多くの山々は杉を中心とした人工林へと変わっていききましたが杉を大量に植えた日本の山々でしたが、自由貿易が始まり、安い輸入材が大量に市場に回るようになり、杉の市場価値が下がってしまいました。つまり、日本の杉は需要が無くなったのです。売れないから、切らない。という時代になってしまったのです。切らなくなった人工林は放置されるようになりました。密集した人工林は、枝打ちや間伐などの手入れをしないと地面に光が届きません。そんな地面には、草が生えず、土が固くなり、雨が降っても水を吸い込みません。雨は地表を

一気に流れてしまいます。人工林で覆われた山の保水が失われたことで、日常的に川へ送り出す水量が減り、川の水量が減少していったそうです。

また、もう一つの理由として地球の砂ばく化があげられます。今、地球では陸地面積の約六分の一が砂ばく化の影響を受けているのが国連環境計画の調査で分かったそうです。砂ばく化の原因の一つは雨が降らないなどの気候の変化によるものです。土地に対して多すぎる家ちくの放牧や、土地を休ませることなく作物を作り続けることなど、人びとの活動のほうが、実はもっと直接的な砂ばく化の原因になっているそうです。

最近では、「地球温暖化」が、水資源に大きな影響をあたえています。気温が上がると地域によって降水量が減ったりします。

このようなことをまとめると、僕たち人間が、限りある水資源を減らしていることが分かると思います。しかし、水を増やすことだって出来るのです。例えば、「間伐」です。間伐が進めば、太陽の光が地面まで届き、下草が生い茂り、水を吸い込む地面

を増やせます。山から川へ流れ込む水の量も増えていきます。また、「地球温暖化」も一人一人が意識をすれば抑えることもできます。誰もいない部屋の電気は消す。テレビのつけっぱなしはやめる。近場であれば車の使用は控え、自転車や徒歩で移動する。など一人一人の意識で水は増えていきます。水が増えることで命も助けられます。アメリカやインドでは地下水が枯れて農業用水が十分に得られなくなり、農地が減り始めています。つまり、水不足になることは食糧の不足へとつながるのです。

今の水の状況は決してよいとはいえません。これから僕達は自分が出れることを行い、水資源を増やしていくことがこれからの世界にはとても大切なことです。みなさんも明日から実践してみましよう。